

旅行先としての日本の地方がますます注目を集めています！ ～シンガポールで旅行博と個人訪日旅行者向けセミナーが同時開催～

日本政府観光局（JNTO）によると、2015年1月から6月におけるシンガポールから日本への旅行者数は約13万人と前年比32.8%の増加を見せています。円安や韓国でのMERS流行などの外的要因で、海外からの訪日旅行に追い風が吹いている中、シンガポールで2015年7月24日（金）から26日（日）に旅行博「Travel Revolution 2015」が開催されました。自治体国際化協会シンガポール事務所は、JNTOシンガポール事務所が今年度事業として出展する日本パビリオン内ビジットジャパンブースにおいて、JNTOシンガポール事務所と連携し、観光PRを実施しましたので、現地の様子について報告いたします。



来場者に旅行情報を提供する様子

1、旅行先としての関心は？

訪日旅行の情報を求めて来場するシンガポール人の多くが、1度は日本を訪れたことがあり、既に訪れている地域は、東京、大阪、京都、富士山、北海道、白川郷などでした。しかしながら、東京や大阪及びその周辺地域の情報を求める人も多く、複数回日本を訪れる場合でも、出入り口となる空港がある地域とその周辺地域には関心があると感じました。

さらに新しい観光地として四国、中国、特に九州（福岡）への質問の多さには、目を見張るものがありました。桜の時期や名所を初めとして、温泉や自然への関心の高さは、引き続き顕著に見られました。

来場者層については、比較的高齢の人や家族連れが多く見られました。これは、若者がインターネットにより情報を収集していることを示すものであり、シンガポールでのFIT旅行化が進んでいると実感しました。

来場者に説明をするためのパンフレットとしては地図がついている広域のものが便利です。自分でドライブをして旅行を楽しむために広域の地図を求める人も見られました。電車やバスの移動についても乗換場所や移動時間など細かな情報を求める人、また、英語での情報が少ないことに不安を感じている人も多くいました。

2、JAPAN TRAVEL SEMINAR が同時開催

Marina Bay Sands において、JNTOシンガポール事務所主催の一般旅行者向けセミナー「JAPAN TRAVEL SEMINAR」が Travel Revolution 2015 と同時開催されました。本セミナーは、土日の2日間、午前・午後と2回ずつの計4回実施され、各回約80人計327人が参加しました。

初回のセミナーでは、JNTOが、訪日の魅力を映像やプレゼンテーション形式で紹介した後、VJ（ビジット・ジャパン）大使であるジョージ・リム氏が、豊富な実体験に基づいて企画した FIT 訪日旅行提案がありました。同氏は季節を切り口として、日本列島を縦断する紅葉前線を引き合いに日本の美しい秋を紹介するなど、時に笑いを交えながら、各地域の最新情報を余すところなく伝えました。何度も日本を訪れたからこそ分かる、日本の奥深い魅力を伝えていたことが非常に印象的でした。



ビジット・ジャパン大使による発表

続いて、東北観光推進機構などの旅行博への出展者が、各地の魅力が詰まった画像を交えながら、地域の観光資源のPRを行いました。その後、ゲスト・トークショーが行われ、日本の観光名所に精通した現地人気プロガーらが築地場外市場で食べることの出来る海鮮など、自身の体験に基づく日本の見どころを紹介しました。地震のないシンガポールならではの視点から、日本で地震に遭遇した場合の避難方法を教えていたことは興味深く感じました。

3、訪日旅行人気は続く

旅行博の来場者は新たな旅行先を探す訪日旅行のリピーターが多く、個人旅行セミナーも盛況でした。これに応じて、各地で主要駅・ホテル発着の1日旅行の造成などによる観光客取り込みにもますますの盛り上がりが予想されます。

■ Travel Revolution 2015 の概要

会期	2015年7月24日（金）～26日（日） 10:00～21:00
開催場所	Marina Bay Sands
主催	Singapore Outbound Travel Agents Association
対象	一般消費者
入場料	無料
来場者数	約81,000人（2015年4月開催時は約76,000人）
自治体・関連団体の出展者	群馬県、静岡県、茨城県、岐阜県、北海道観光振興機構、東北観光推進機構、関西地域振興財団、紀伊半島滞在型観光プロモーション事業実行委員会

（佐々木所長補佐 札幌市派遣）

（太田所長補佐 浜松市派遣）